

プロセスの視点に基づく アントレプレナーシップ研究の新たな展開 (下)

——経営研究における影響力のある文献のレビュー (2013~2018年) ——

関 智 宏

- I はじめに
- II 方法
- III 結果
 - III-1. アントレプレネリング
 - III-2. 認知的視点および起業行為 (以上, 前号)
 - III-3. 起業機会の発見/創造・評価・活用 (以下, 本号)
 - III-4. その他-理論化の検討, 特定の事象と結びつけた研究展開-
- IV ディスカッション
- V 小結

プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究の潮流との関連性を考慮し, 比較的最近において公開された論文を収集したところ, その数は, 41本となった。筆者は, これら41本の論文の内容を精査し, 1つにアントレプレネリング, 2つに認知的視点および起業行為, 3つに起業機会の発見/創造・評価・活用, 4つにその他, の4つのカテゴリーを導出し, 前号(『同志社商学』第74巻第6号)で, 前者2つのカテゴリーをとりあげ, その内容を提示した。本号では, 後者2つのカテゴリーの内容を掲示したうえで, 導出された4つのカテゴリーの内容を踏まえたディスカッションを試みることにしたい。

III-3. 起業機会の発見/創造・評価・活用

アントレプレナーシップの古典的な研究では, 企(起)業家が誰かという点をめぐる議論がなされていた(Gartner, 1985)。これに対して, アントレプレナーシップを「将来の商品やサービスを生み出す機会がどのように, 誰によって, どのような効果をもって発見され, 評価され, 活用されているのかを研究する」研究領域として位置づけ(Venkataraman, 1997), 企(起)業家個人から, 機会の存在を切り離れたのが, Shaneらの研究である(Shane and Venkataraman, 2000; Venkataraman, 1997)。ここでのアントレプレナーシップ研究は, 起業機会の源泉, 起業の発見(discovery)・評価(evaluation)・活用(exploitation)のプロセスと, 起業機会を発見し, 評価し, 活用する

個人との双方が研究されるものとされている。このような考え方は、Shane and Venkataraman (2000) のなかでより強く表れ出し、これ以降、企(起)業家と非企(起)業家との違いを解明すべく、企(起)業家個人の属性に焦点を当てがちであったアントレプレナーシップ研究の流れを、起業機会の発見・評価・活用のプロセスへと移行させることになった。

最近のプロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究においても、この起業機会の発見・評価・活用のプロセスにかかる研究が展開されている (Gupta et al., 2013; McCann and Vroom, 2015; Nieto and Gonzalez-Alvarez, 2016)。なかでも Gupta et al. (2013) は、ステレオタイプ情報が露骨に提示されるか微妙に提示されるかといったその提示方法の違いによって、男女の起業機会に対する評価に異なる影響を与えることを明らかにしている。McCann and Vroom (2015) は、プロセスの初期に焦点を当てた起業機会の評価と変化する信念との関連から、企(起)業家予備軍による計画立案活動が、環境の不確実性の認知の減少、個人の自己効力感の認知と事業業績への期待の増加と関連していることを実証している。さらに本研究で対象とした論文のなかで、もっとも他の研究に引用されている Nieto and Gonzalez-Alvarez (2016) は、ソーシャル・キャピタル (social capital) との関連から、個人と地域のソーシャル・キャピタルが起業機会の発見と活用に同時に影響を与えることを検証している。具体的には、ソーシャル・キャピタルが高い地域の個人は、起業機会を発見し、活用する可能性が高いこと、他の企(起)業家とのネットワークを持つ個人は、起業機会を発見し、企(起)業家になる可能性が高いこと、さらにプロセスの各段階で、個人レベルのソーシャル・キャピタルは、地域レベルのソーシャル・キャピタルよりも大きな効果を持つこと、を明らかにしている。ここでは、企(起)業家個人が起業機会と切り離されておらず、ソーシャル・キャピタルの概念をもちいて両者を再び融合させた新しい研究潮流であると言える。

ところで、起業機会が発見されるということは、起業機会そのものが客観的に存在す

1 Nieto and Gonzalez-Alvarez (2016) では、ソーシャル・キャピタルとは、社会ネットワークとそれに関連する互惠、協力、信頼の規範のこととされている。このソーシャル・キャピタルとの関連については、本研究で対象とした論文のなかではそれほど多くとりあげてはいないが、アントレプレナーシップとの関連を考察する研究がいくつかみられた (Campopiano et al., 2016; Stam et al., 2014; 2017)。Stam et al. (2014) は、ソーシャル・キャピタルの役割に着目し、企(起)業家のパーソナルネットワークと小規模企業の業績との関連性についてメタ分析を行い、その関連は正で有意であること、またネットワークの多様性が大きな影響を与えることを明らかにしている。また Smith et al. (2017) は、デジタル時代において企(起)業家がソーシャル・キャピタルを獲得する方法を理解するための研究課題を提示することを目的に、ソーシャル・ネットワーク・サイトの独特な技術的能力が、企(起)業家のソーシャル・キャピタルの形成に対して影響を及ぼす概念的枠組を構築している。さらに Campopiano et al. (2016) は、結合型ソーシャル・キャピタルと橋渡し型ソーシャル・キャピタルの提供による家族による支援の認識など態度の育成をつうじて、家族がアントレプレナーシップを育む基本的な制度として機能していること、さらに「環境的使命の遂行」が、家族の資源提供とアントレプレナーシップとの関係を媒介する動機として浮かび上がったことを指摘している。

ることを前提としている。しかしながら、起業機会の客観性を前提としない考え方もある。それは、起業機会の発見の論理に対する、起業機会の創造の論理である。ただし、起業機会の発見と創造は相反するものでなく、Alvarez and Barney (2007) が指摘するように、起業機会の形成においては発見と創造という2つの排他的でない代替可能な論理が存在する。本研究で対象とした論文のなかでも、起業機会の発見と創造をめぐる研究が展開されている(Hmieleski et al., 2015; Leyden and Link, 2015)。なかでもHmieleski et al. (2015) は、創業CEOの無形資産（人的資本、社会的資本、心理的資本）が、起業機会の発見（リスクを伴う安定した産業環境）と創造（不確実性を伴うダイナミックな産業環境）の環境下にある企業のパフォーマンスとどのように関連するかを検証している。そして、安定的な環境では起業経験（過去に設立したベンチャー企業の数）が業績に正の影響を与えるのに対し、動的な環境では学歴（取得した最高学位）、強い絆（会社に関連する支援を提供する家族や友人との社会的つながり）、心理資本（逆境に対処するための内面の認知、感情、行動の資源）が業績に正の影響を与えることを明らかにしている。またLeyden and Link (2015) は、アントレプレナーシップを、起業機会の創造と発見の2段階からなる反復プロセスとしてモデル化し、企（起）業家は、ネットワークの有効性に関する主観的な期待に基づいて社会的ネットワークを構築し、次に追求すべきイノベーションを選択し、そのイノベーションを実現するための方法を発見する探索プロセスと位置づけ、このプロセスにおいては、強い絆と弱い絆が混在するソーシャル・ネットワークと、そのソーシャル・キャピタルを継承していく力が重要であるとしている。ここでも、起業機会の発見のところで確認されたように、企（起）業家個人が起業機会と切り離されず、ソーシャル・キャピタルの概念をもちいて両者を再び融合させた新しい研究潮流がみられる。

III-4. その他－理論化の検討、特定の事象と結びつけた研究展開－

①理論化に向けた検討

かつてSteyaert (2007) がアントレプレネリングの概念を提唱したものの、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究では、これまで一部の例外を除いて、その概念の理論的考察を試みた研究は多くなかった（例外として、Johanisson, 2011）。本研究で対象とした論文のなかでは、その数は限られているが、理論的考察を試みた研究がいくつかある（Belz and Binder, 2017; Selden and Fletcher, 2015）。なかでもSelden and Fletcher (2015) は、起業のプロセスを起業の旅（entrepreneurial journey）として位置づけ、旅の出来事を「効果的論理」、「ブリコラージュ」、「機会緊張」、「制定」などといったメカニズムで説明している。具体的には、Sarasvathy (2003; 2008) とVenkataraman et al. (2012) の「人工物の科学」（Simon, 1996）というアントレプレナーシップの探求

の概念に基づき、起業の旅を「企（起）業家の成果物創出プロセスの創発階層的システム」として概念化し、企（起）業家のイベントを、人工物を創発する先行パターンの内生的なダイナミクスとの関係から説明している（Selden and Fletcher, 2015）。

また Belz and Binder (2017) は、1つの起業のプロセス・モデルとして持続可能なアントレプレナーシップ（sustainable entrepreneurship）の概念を提唱している。ここでの持続可能なアントレプレナーシップは、経済的、社会的、生態学的目標のトリプルボトムラインアプローチを追求するものである。具体的には、4つのケース・スタディに基づき、1) 社会的・生態学的問題の認識、2) 社会的・生態学的機会の認識、3) ダブルボトムライン・ソリューションの開発、4) トリプルボトムライン・ソリューションの開発、5) 持続可能な企業への資金提供と設立、6) 持続可能な市場の創出と参入という6つのフェーズを含む持続可能なアントレプレナーシップのプロセスを説明するモデルを開発している（Belz and Binder, 2017）。

②特定の事象と結びつけた研究展開

本研究で対象とした論文のなかには、特定のカテゴリーには位置づけにくいのが、特定の事象と結びつけてプロセスとしてのアントレプレナーシップを検討した研究がいくつかある。ここでいう特定の事象とは、1つは大学など教育研究期間におけるアントレプレナーシップ（Hayter et al., 2017; Johannisson, 2016; Passaro et al., 2018, Vanevenhoven and Liguori, 2013）、2つは国際化（Ciravegna et al., 2014; De Clercq and Zhou, 2014）、3つは公共政策との関連（Leyden, 2016）、4つはその他（Nordqvist et al., 2013）、である。

1つは、大学など教育研究期間におけるアントレプレナーシップ（Hayter et al., 2017; Johannisson, 2016; Passaro et al., 2018, Vanevenhoven and Liguori, 2013）である。Vanevenhoven and Liguori (2013) は、70カ国以上、400大学にわたる、18,000人以上の学生の回答から構成されるアントレプレナーシップ教育プロジェクトでのデータをもちいて、アントレプレナーシップ教育が、学生が起業に至る動機づけとそのプロセスに、また学生から企（起）業家へのアイデンティティを変換させるプロセスに与える影響を検討している。Johannisson (2016) は、人間が価値創造のためのベンチャーを生み出したり、あるいは世界を立ち止まらせる力を動員したりすることができるようになるためには、人間の認知的能力だけでなく、感情的ないし観念的能力を認識することが必要であり、そのためには普遍的な科学的知識だけでなく、状況的洞察が必要であると、学生は大学という枠を超えて、学生を旅させることでしか得られないということ、事例の比較分析から主張している。また Passaro et al. (2018) は、起業意図²および

2 Gielnik et al. (2018) は、若年者は高齢者に比べてより広い将来時間軸を持つため、若年者（対高齢者）は機会の特定から起業意図の形成に移行する可能性が高いと予想されること、また高齢者は若年者より

人的資本の出現に高等教育が与える影響を調査したところ、教育水準とアントレプレナーシップ教育の具体的な特徴の両方が異なる学生と研究者の2つのサンプルに差異を確認し、アントレプレナーシップ教育の水準と特徴が、起業意図と人的資本の発達に重要な要因であることを示している。さらに Hayter et al. (2017) は、大学の研究から生まれた技術をもとに新しい企業を設立するというアカデミック・アントレプレナーシップの観点から、事例研究をつうじて、大学発スピンオフ企業においては、大学院生が、最初の設立の意思決定や市場性のある技術開発のための組織の再構築という点で、大学教員個人の企（起）業家と同様の役割を担っていること、さらに学生企（起）業家は、指導教官や他の学生との衝突など、独自の課題に直面していること、を明らかにしている。

2つは、国際化 (Ciravegna et al., 2014; De Clercq and Zhou, 2014) である。De Clercq and Zhou (2014) は、創業年の浅い、中国に拠点を置く国際的なベンチャーの起業戦略態勢 (entrepreneurial strategic posture) と国際パフォーマンスの関係における国際学習努力の仲介的役割を調査し、起業戦略の態勢が、海外市場で費やされる学習努力の強度を通じて国際パフォーマンスを高めることを明らかにしている。また、Ciravegna et al. (2014) は、中国の繊維メーカー 109 社へのインタビューを通じて収集した情報を活用し、輸出企業が、先取的な (proactive) 顧客探しによって最初の海外顧客を見つけた企業が、より早く、より集中的に、より多くの市場に輸出する可能性があるかどうかを検証し、外国市場における最初の顧客探しの積極性は、企業の国際化パスの強度と地理的範囲の重要な予測因子であるが、そのスピードの予測因子ではないことを明らかにしている。

3つは、公共政策との関連 (Leyden, 2016) である。Leyden (2016) は、公共部門のアントレプレナーシップによる政策の推進に焦点を当て、アントレプレナーシップの国家システムに導かれた公共政策が民間と公共部門のアントレプレナーシップの改善に果たす役割を探求し、民間と公共部門の双方でアントレプレナーシップが自発的に生まれるような環境を整える重要性を指摘している。

4つは、その他である (Nordqvist et al., 2013)。Nordqvist et al. (2013) は、事業承継をとりあげているが、特定の事象を直視しているのではなく、文献レビューとなっている。具体的には、Nordqvist et al. (2013) は、同族会社の事業承継に関する既往文献をレビューし、クラスター分析をつうじて、新しいオーナーの参入と古いオーナーの退出の両方が新しいビジネスチャンスの追求に関連するという、事業承継を理解することが

、りも起業経験が豊富であり、高齢者（対若年者）は起業意図の形成から起業活動へ移行する可能性が高いと予想されることから、起業意図と企（起）業家の年齢との関連について検討し、起業に対する年齢の役割を明らかにしている。

できるテーマを見い出している。そして、それぞれのクラスターにおけるギャップを明らかにしている。

IV ディスカッション

以下では、前項で明らかにした、1つにアントレプレネリング、2つに認知的視点および起業行為、3つに起業機会の発見／創造・評価・活用、4つにその他、といった4つのカテゴリーごとに、その特徴についてあらためて整理し、その内容を検討していく。

第1に、アントレプレネリングである。アントレプレネリングという1つの新しいテーマ・クラスターが、本研究で対象とした期間に醸成され、その後いっそうアントレプレネリングにかかる研究が展開していると言える。アントレプレネリングは、かつて Steyaert (2007) が提示し、そして実践からのアプローチとして Rindova らや Goss らがその発展を試みた概念である (Goss, 2005; Goss et al., 2011; Rindova et al., 2009)。新たな研究展開としては、各々の社会的・制度的コンテクストを分析単位とした点にその特徴がみられ、そして、コンテクストのなかで起業に関連して起こっているさまざまな現象を検討することで、アントレプレナーシップは「狭い個人主義から社会的要因」へと検討対象をより拡大させることにつながった (Gaddefors and Anderson, 2017)。そして国境をまたがった地域ごと、とくに新興諸国のコンテクストに着目する研究がいっそう活発化している。欧米に加えて新興諸国を対象とした研究は比較的多く取り組まれているが、アジアを対象とした研究は、本研究で対象とした論文のなかでは一部にとどまっている (Chandra, 2017; Elston et al., 2016)。さらに、アジアのなかでも、農村地域といった特定地域を対象とした研究はほぼ皆無である。また地域だけでなく、ジェンダーとも関連させた複合的な研究も新たな展開として出てきている。このように各々の社会的・制度的コンテクストを分析単位としたアントレプレネリングは、まだいっそうの検討の余地が残されている。

第2に、認知的視点と起業行為である。これら2つの視点の融合領域が1つのテーマ・クラスターとして醸成し、アントレプレナーシップ研究の新しい領域を開拓していると言える。認知的視点は、企(起)業家個人の起業にかかる心理的側面に焦点を当てた研究に端を発しており、その後、1つのテーマ・クラスターを形成し、研究が展開されている。こうしたなかで、かつて McMullen and Shepherd (2006) は、起業行為の理解には、これら知識と動機を同時に考慮する必要があるとした (McMullen and Shepherd, 2006)。ここでは認知的視点と起業行為との関連が指摘されているが、起業行為をめぐる諸研究は、上のアントレプレネリングのように、行為が個人の認知的視点と

切り離し、社会に焦点を当てるようになったこともあり、認知的視点との関連についての深掘りはそれほど見られなかった。しかし新たな研究展開では、まさに認知的視点と起業行為との融合領域が、研究のテーマ・クラスターとして展開されている。ここでの特徴は、起業につながるアイデンティティ（Obschonka et al., 2015）や直感（Baldacchino et al., 2015）、さらに刷り込みプロセス（Mathias et al., 2015）などといった新しい研究視角の導入であり、個人への再帰を目指そうとした点にある。これら新しい研究視角からの検討はまだ途上であり、まだいっそうの検討の余地が残されている。

第3に、起業機会の発見／創造・評価・活用である。この従来にもみられたテーマ・クラスターが、最近のプロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究でも、活性するテーマ・クラスターとして研究展開されていると言える。ここで特筆すべきは、1つは、起業機会の発見にせよ創造にせよ、かつて企（起）業家個人の属性に焦点を当てがちであったアントレプレナーシップ研究を、起業機会を分析単位とすることで企（起）業家個人が起業機会と切り離そうとしたが、この新しいテーマ・クラスターでは、企（起）業家個人と起業機会とが切り離されていないこと、さらにもう1つは、そのことを、ソーシャル・キャピタルの概念をもちいて両者を再び融合させ、企（起）業家個人がソーシャル・キャピタルを豊かに蓄積している場合に起業機会の評価や活用によどのような影響を及ぼすかを検討していること、の2つの点を特徴として指摘することができる。このように、ソーシャル・キャピタルとアントレプレナーシップとを融合させた研究が活性している。しかしながら、かつて Shane や Vankataraman らが指摘したように（Shane and Venkataraman, 2000; Venkataraman, 1997）、そもそも起業機会は企（起）業家個人からそもそも切り離そうとした分析単位であった。それにもかかわらず、あらためて企（起）業家個人と融合させることが、アントレプレナーシップの研究展開においてどのような意味をもつものかについて検討の余地が残されている。また、起業機会の発見／創造の後に続く評価や活用を含めたプロセス全体の検討はまだ途上であり、研究の余地が残されている。

第4に、上の3つのテーマ・クラスターとしては位置づけることができなかつたカテゴリーである。1つは、理論化に向けた検討についてである。プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究における理論化に向けた検討はこれまで必ずしも多くなかつたが、「創発階層的システム」（Selden and Fletcher, 2015）や持続可能なアントレプレナーシップ（Belz and Binder, 2017）といった理論化に対する意欲的な研究がみられる。しかしプロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究では、さまざまなテーマに基づいた実証研究こそ活性しているが、理論研究はそれと比べると十分なほど展開しているとは言えない。プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップを対象とした理論研究について検討の余地が残されている。

もう1つは特定の事象と結びつけた研究展開についてである。プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究においては、理論化に向けた検討が十分とは言えない反面、特定の事象に着目した実証研究が展開されている。いくつかある特定の事象のなかでも、とくに活性しつつあるのはアントレプレナーシップ教育にかんする研究である。アントレプレナーシップ教育をめぐる研究は、アントレプレナーシップ研究においていまホットな話題の1つであり、たとえば効果的な教授法(教授実践)(pedagogy)³がどのようなものであるかなど、その議論はいままさに展開されているところである(Fayolle, 2013; Hägg and Gabriellsson, 2020)。学生が起業に至る動機づけとそのプロセスあるいは学生から企(起)業家へのアイデンティティを変換させるプロセスに着目したり(Vanevenhoven and Liguori, 2013)、あるいは学生が感情的ないし観念的能力を認識するための教育機関を超えた旅(Johannisson, 2016)、さらに高等教育に起業意図や人的資本の出現が与える影響(Passaro et al., 2018)、といった諸点に着目したりしているように、教育(education)そのものもかたちを変え、起業を実現したり、あるいは企(起)業家になるまでのプロセスとして捉えようとしている点に特徴がある。しかしながら、アントレプレナーシップ教育だけでなく、国際化ないし公共政策との関連にせよ、いずれも上でみてきたようなある特定のテーマ・クラスターに位置づけることができず、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究の展開としては、非系統的であるとの印象をぬぐえない。

V 小 結

筆者は、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究として独自に収集した428本の論文のなかでも、とくに他の研究に大きな影響を与えている、2012年までに刊行された46本の論文を対象にシステムティック・レビューを行い、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究が、具体的にどのような内容であり、さらにどのように展開されてきたかを明らかにした(関, 2021)。具体的には、①誰が企(起)業家で誰が企(起)業家でないのか、②組織としてのアントレプレナーシップ、③起業機会の発見・評価・活用のプロセス、④起業機会を発見する－認知、知識、学習、意図からのアプローチ、企(起)業家個人と起業機会のネクサス／起業機会を企(起)業家個人から切り離す、⑤起業機会を創造する、⑥アントレプレネリアル・プロセスの全体把握、⑦認知的視点による研究展開のその後、⑧エフェクチュエーションと起業行為、⑨実践からのアプローチ－実体から実践へ／解放からのアプローチといった、9つの

3 たとえば、Hägg and Gabriellsson (2020) では、教授法(教授実践)(pedagogy)は、「教師、学生、学習環境、学習課題間の相互作用」と定義されている(p.830)

テーマ・クラスターを導出し、その研究動向を示した（関，2021）。

しかしながら、レビューの対象を影響の大きな論文に限定したために、その対象が2012年までに刊行されたものに限定されてしまい、比較的最近の研究動向について把握することができなかった。そこで本稿では、拙稿（2021）を踏まえ、2013年から2018年までに刊行された、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップをめぐる比較的最近の諸研究をレビューし、諸研究の動向とその特徴を把握していくことを目的とした。そしてプロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究の潮流との関連性を考慮し、本研究の検討対象となる41本の論文の内容を精査し、1つにアントレプレネリング、2つに認知的視点および起業行為、3つに起業機会の発見／創造・評価・活用、4つにその他、の4つのカテゴリーを導出した。これらの4つのうち最初の3つが、比較的最近の、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究におけるテーマ・クラスターとして位置づけることができることを指摘した。

それらの特徴をあらためてまとめると、次のようになる。1つに、アントレプレネリングにかんしては、国境をまたがった地域ごと、とくに新興諸国のコンテクストに着目する研究が活性しているが、各々の社会的・制度的コンテクストを分析単位としたアントレプレネリングはまだいっそうの検討の余地が残されている。2つに、認知的視点および起業行為にかんして、新しい研究視角からの認知的視点と起業行為とが融合する、企（起）業家個人への再帰を目指そうとする研究が活性しているが、新しい研究視角からの検討はまだ途上であり、まだいっそうの研究の余地が残されている。3つに、起業機会の発見／創造・評価・活用という、従来にもみられたテーマ・クラスターにかんして、とくにソーシャル・キャピタルと融合させた研究が活性しているが、あらためて企（起）業家個人と融合させることが、アントレプレナーシップの研究展開においてどのような意味をもつものか、さらには、起業機会の発見／創造の後に続く評価や活用を含めたプロセス全体の検討はまだ途上であるなど、検討の余地が残されている。4つにその他として、理論化に向けた検討および特定の事象と結びつけた研究展開にかんしてである。まず理論化に向けた検討にかんして、さまざまなテーマに基づいた実証研究こそ活性しているが、理論研究はそれと比べると十分なほど展開しているとは言えず、理論研究について検討の余地が残されている。次に特定の事象と結びつけた研究展開にかんして、いろいろな事象のなかでもとりわけアントレプレナーシップ教育、国際化、そして公共政策との関連といった事象が検討されたが、上でみてきたようなある特定のテーマ・クラスターに位置づけることができず、プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究の展開としては、非系統的であるとの印象をぬぐえない。

筆者は、これまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期において、中小企業（家）のアントレプレナーシップがいかに発揮されるかを検討してきた（関・同志社大

学中小企業マネジメント研究センター編, 2022)。新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期はまさに企業経営においてその存続を脅かす危機的な状況であった。そうした危機的な状況下における中小企業(家)の一連の行動は、特定の事象にすぎないかもしれないが、経営領域においては最近のきわめて大きな社会課題であり、このような喫緊的な課題に学問としてのアントレプレナーシップがどのように貢献するか、その関連性と貢献のあり方が問われている。プロセスの視点に基づくアントレプレナーシップ研究、具体的には、比較的最近の研究成果のレビューから導出した、アントレプレネリング、認知的視点および起業行為、起業機会の発見/創造・評価・活用といった3つのテーマ・クラスターに準拠しつつも、さらに新しい研究視角などとも組み合わせながら、アントレプレナーシップの理論化を試みていくことで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期における中小企業(家)の一連の行動を解明しようとすることは、まさにアントレプレナーシップ研究領域のさらなる発展に貢献していくものと期待される。筆者の今後の検討課題である。

参考文献

- 関智宏 (2021) 「企(起)業家活動プロセスをめぐる諸研究をマッピングする—経営研究における影響力のある文献のシステマティック・レビュー」同志社大学商学会『同志社商学』第72巻第5号, pp.929-969。
- 関智宏・同志社大学中小企業マネジメント研究センター編 (2022) 『新型コロナウイルス感染症と中小企業』同友館。
- Al-Dajani, H., Carter, S., Shaw, E. and Marlow, S. (2015) "Entrepreneurship among the displaced and dispossessed: Exploring the limits of emancipatory entrepreneurship," *British Journal of Management*, 26: 713-730.
- Alvarez, S. A. and Barney, J. (2007) "Discovery and creation: Alternative theories of entrepreneurial action," *Strategic Entrepreneurship Journal*, 1(1-2) : 11-26.
- Anderson, A. and Ronteau, S. (2017) "Towards an entrepreneurial theory of practice: Emerging ideas for emerging economies," *Journal of Entrepreneurship in Emerging Economies*, 9(2) : 110-120.
- Baldacchino, L., Ucbasaran, D., Cabantous, L. and Lockett, A. (2015) "Entrepreneurship research on intuition: A critical analysis and research agenda," *International Journal of Management Reviews*, 17: 212-231.
- Baron, R. A. (1998) "Cognitive mechanisms in entrepreneurship: Why and when entrepreneurs think differently than other people," *Journal of Business Venturing*, 13(4) : 275-294.
- Baron, R. A. (2008) "The role of affect in the entrepreneurial process," *Academy of Management Review*, 33(2) : 328-340.
- Belz, F. M. and Binder, J. K. (2017) "Sustainable entrepreneurship: A convergent process model," *Business Strategy and the Environment*, 26(1) : 1-17.
- Bird, B. (1988) "Implementing entrepreneurial ideas: The case for intention," *Academy of Management Review*, 13(3) : 442-453.
- Campopiano, G., Minola, T. and Sainaghi, R. (2016) "Students climbing the entrepreneurial ladder: Family social capital and environment-related motives in hospitality and tourism," *International Journal of Contemporary Hospitality Management*, 28(6) : 1115-1136.
- Chandra, Y. (2017) "Social entrepreneurship as emancipatory work," *Journal of Business Venturing*, 32(6) :

- 657-673.
- Chiles, T. H., Bluedorn, A. C. and Gupta, V. K. (2007) "Beyond creative destruction and entrepreneurial discovery: A radical Austrian approach to entrepreneurship," *Organization Studies*, 28(4) : 467-493.
- Chiles, T. H., Elian S. R. S. T. A. and Li, Q. (2017) "Entrepreneurship as process," in Langley, A. and Tsoukas, H. eds., *The Sage Handbook of Process Organization Studies*, London: Sage Publications: 432-450.
- Ciravegna, L., Majano, S. B. and Zhan, G. (2014) "The inception of internationalization of small and medium enterprises: The role of activeness and networks," *Journal of Business Research*, 67(6) : 1081-1089.
- De Clercq, D. and Zhou, L. (2014) "Entrepreneurial strategic posture and performance in foreign markets: The critical role of international learning effort," *Journal of International Marketing*, 22(2) : 47-67.
- DeTienne, D. R. (2010) "Entrepreneurial exit as a critical component of the entrepreneurial process: Theoretical development," *Journal of Business Venturing*, 25(2) : 203-215.
- Elston, J. A., Chen, S. and Weidinger, A. (2016) "The role of informal capital on new venture formation and growth in China," *Small Business Economics*, 46(1) : 79-91.
- Fayolle, A. (2013) "Personal views on the future of entrepreneurship education," *Entrepreneurship & Regional Development*, 25(7-8) : 692-701
- Frank, H. and Landström, H. (2016) "What makes entrepreneurship research interesting? Reflections on strategies to overcome the rigour-relevance gap," *Entrepreneurship & Regional Development*, 28(1-2) : 51-75.
- Gaddefors, J. and Anderson, A. R. (2017) "Entrepreneursheep and context: When entrepreneurship is greater than entrepreneurs," *International Journal of Entrepreneurial Behavior & Research*, 23(2) : 267-278.
- Gartner, W. B. (1985) "A conceptual framework for describing the phenomenon of new venture creation," *Academy of Management Review*, 10(4) : 696-706.
- Gherardi, S. (2015) "Authoring the female entrepreneur while talking the discourse of work-family life balance," *International Small Business Journal*, 33(6) : 649-666.
- Gielnik, M. M., Zacher, H. and Wang, M. (2018) "Age in the entrepreneurial process: The role of future time perspective and prior entrepreneurial experience," *Journal of Applied Psychology*, 103(10) : 1067-1085.
- Goss, D. (2005) "Entrepreneurship and 'the social': Towards a deference-emotion theory," *Human Relations*, 58(5) : 617-636.
- Goss, D., Jones, R., Betta, M. and Latham, J. (2011) "Power as practice: A micro-sociological analysis of the dynamics of emancipatory entrepreneurship," *Organization Studies*, 32(2) : 211-229.
- Gupta, V. K., Turban, D. B. and Pareek, A. (2013) "Differences between men and women in opportunity evaluation as a function of gender stereotypes and stereotype activation," *Entrepreneurship Theory and Practice*, 37(4) : 771-788.
- Hägg, G. and Gabrielsson, J. (2020) "A systematic literature review of the evolution of pedagogy in entrepreneurial education research," *International Journal of Entrepreneurial Behavior & Research*, 26(5) : 829-861
- Harmeling, S. S. and Sarasvathy, S. D. (2013) "When contingency is a resource: Educating entrepreneurs in the Balkans, the Bronx, and beyond," *Entrepreneurship Theory and Practice*, 37(4) : 713-744.
- Haugh, H. M and Talwar, A. (2016) "Linking social entrepreneurship and social change: The mediating role of empowerment," *Journal of Business Ethics*, 133(4) : 643-658.
- Hayter, C. S., Lubynsky, R. and Maroulis, S. (2017) "Who is the academic entrepreneur? The role of graduate students in the development of university spinoffs," *Journal of Technology Transfer*, 42(6) : 1237-1254.
- Hmieleski, K. M., Carr, J. C. and Baron, R. A. (2015) "Integrating discovery and creation perspectives of entrepreneurial action: The relative roles of founding CEO human capital, social capital, and psychological capital in contexts of risk versus uncertainty," *Strategic Entrepreneurship Journal*, 9(4) : 289-312.

- Hui-Chen, C., Kuen-Hung, T. and Chen-Yi, P. (2014) "The entrepreneurial process: An integrated model," *International Entrepreneurship and Management Journal*, 10(4) : 727-745.
- Johannisson, B. (2011) "Towards a practice theory of entrepreneuring," *Small Business Economics*, 36: 135-150.
- Johannisson, B. (2016) "Limits to and prospects of entrepreneurship education in the academic contexts," *Entrepreneurship & Regional Development*, 28(5-6) : 403-423.
- Khoury, T. A. and Prasad, A. (2016) "Entrepreneurship amid concurrent institutional constraints in less developed countries," *Business & Society*, 55(7) : 934-969.
- Kirzner, I. M. (1973) *Competition and Entrepreneurship*, Chicago: University of Chicago Press.
- Kuckertz, A., Kollmann, T., Krell, P. and Stoeckmann, C. (2017) "Understanding, differentiating, and measuring opportunity recognition and opportunity exploitation," *International Journal of Entrepreneurial Behavior & Research*, 23(1) : 78-97.
- Leyden, D. P. (2016) "Public-sector entrepreneurship and the creation of a sustainable innovative economy," *Small Business Economics*, 46(4) : 553-564.
- Leyden, D. P. and Link, A. N. (2015) "Toward a theory of the entrepreneurial process," *Small Business Economics*, 44(3) : 475-484.
- Low M. B. and MacMillan, I. C. (1988) "Entrepreneurship: Past research and future challenges," *Journal of Management*, 14(2) : 139-161.
- Mathias, B. D., Williams, D. W. and Smith, A. R. (2015) "Entrepreneurial inception: The role of imprinting in entrepreneurial action," *Journal of Business Venturing*, 30(1) : 11-28.
- McCann, B. T. and Vroom, G. (2015) "Opportunity evaluation and changing beliefs during the nascent entrepreneurial process," *International Small Business Journal*, 33(6) : 612-637.
- McMullen, J. S. and Dimov, D. (2013) "Time and the entrepreneurial journey: The problems and promise of studying entrepreneurship as a process," *Journal of Management Studies*, 50(8) : 1481-1512.
- McMullen, J. S. and Shepherd, D. A. (2006) "Entrepreneurial action and the role of uncertainty in the theory of the entrepreneur," *Academy of Management Review*, 31(1) : 132-152.
- McMullen, J. S., Ingram, K. M. and Adams, J. (2021) "What makes an entrepreneurship study entrepreneurial? Toward a unified theory of entrepreneurial agency," *Entrepreneurship Theory and Practice*, 45(5) : 1197-1238.
- Mitchell, R. K., Busenitz, L., Lant, T., McDougall, P. P., Morse, E. A. and Smith, J. B. (2002) "Toward a theory of entrepreneurial cognition: Rethinking the people side of entrepreneurship research," *Entrepreneurship Theory and Practice*, 27(2) : 93-104.
- Mitchell, R. K., Smith, B., Seawright, K. W. and Morse, E. A. (2000) "Cross-cultural cognitions and the venture creation process," *Academy of Management Journal*, 43(5) : 974-993.
- Moroz, P. W. and Hindle, K. (2012) "Entrepreneurship as a process: Toward harmonizing multiple perspectives," *Entrepreneurship Theory and Practice*, 36(4) : 781-818.
- Moroz, P. W., Branzei, O., Parker, S. C. and Gamble, E. N. (2018) "Imprinting with purpose: Prosocial opportunities and B Corp certification," *Journal of Business Venturing*, 33(2) : 117-129.
- Mueller, S. and Korsgaard, S. (2018) "Resources and bridging: The role of spatial context in rural entrepreneurship," *Entrepreneurship & Regional Development*, 30(1-2) : 224-255.
- Nieto, M. and Gonzalez-Alvarez, N. (2016) "Social capital effects on the discovery and exploitation of entrepreneurial opportunities," *International Entrepreneurship and Management Journal*, 12(2) : 507-530.
- Nordqvist, M., Wennberg, K., Bau, M. and Hellerstedt, K. (2013) "An entrepreneurial process perspective on succession in family firms," *Small Business Economics*, 40(4) : 1087-1122.
- Obschonka, M., Silbereisen, R. K., Cantner, U. and Goethner, M. (2015) "Entrepreneurial self-identity: Predictors and effects within the theory of planned behavior framework," *Journal of Business and*

- Psychology*, 30(4) : 773-794.
- Packard, M. D., Clark, B. B. and Klein, P. G. (2017) "Uncertainty types and transitions in the entrepreneurial process," *Organization Science*, 28(5) : 840-856.
- Passaro, R., Quinto, I. and Thomas, A. (2018) "The impact of higher education on entrepreneurial intention and human capital," *Journal of Intellectual Capital*, 19(1) : 135-156.
- Peroni, C., Riillo, C. A. F. and Sarracino, F. (2016) "Entrepreneurship and immigration: Evidence from GEM Luxembourg," *Small Business Economics*, 46(4) : 639-656.
- Podsakoff, P. M., MacKenzie, S. B., Bachrach, D. G., and Podsakoff, N. P. (2005) "The influence of management journals in the 1980s and 1990s," *Strategic Management Journal*, 26(5) : 473-488.
- Rindova, V., Barry, D. and Ketchen, J. D. (2009) "Entrepreneurship as emancipation," *Academy of Management Review*, 34(3) : 477-491.
- Sarasvathy, S. D. (2003) "Entrepreneurship as a science of the artificial," *Journal of Economic Psychology*, 24(2) : 203-220.
- Sarasvathy, S. D. (2008) *Effectuation: Elements of Entrepreneurial Expertise*. Edward Elgar, Cheltenham.
- Schatzki, T. R. (2002) *The Site of the Social: A Philosophical Account of the Constitution of Social Life and Change*. University Park, PA: The Pennsylvania State University Press.
- Schatzki, T. R. (2005) "The sites of organizations," *Organization Studies*, 26(3) : 465-484.
- Selden, P. D. and Fletcher, D. E. (2015) "The entrepreneurial journey as an emergent hierarchical system of artifact-creating processes," *Journal of Business Venturing*, 30(4) : 603-615.
- Shane, S. (2003) *A General Theory of Entrepreneurship: The Individual-Opportunity Nexus Approach to Entrepreneurship*. Cheltenham, UK: Edward Elgar.
- Shane, S. and Venkataraman, S. (2000) "The promise of entrepreneurship as a field of research," *Academy of Management Review*, 25(1) : 217-226.
- Shirokova, G., Osiyevskyy, O. and Bogatyreva, K. (2016) "Exploring the intention-behavior link in student entrepreneurship: Moderating effects of individual and environmental characteristics," *European Management Journal*, 34(4) : 386-399.
- Simon, H. A. (1996) *The Architecture of Complexity: Sciences of the Artificial*, Third ed. MIT Press, Cambridge, MA.
- Smith, C., Smith, J. B. and Shaw, E. (2017) "Embracing digital networks: Entrepreneurs' social capital online," *Journal of Business Venturing*, 32(1) : 18-34.
- Stam, W., Arzlanian, S. and Elfring, T. (2014) "Social capital of entrepreneurs and small firm performance: A meta-analysis of contextual and methodological moderators," *Journal of Business Venturing*, 29(1) : 152-173.
- Stevenson, H. H. and Jarillo, J. C. (1990) "A paradigm of entrepreneurship: Entrepreneurial management," *Strategic Management Journal*, 11: 17-27.
- Steyaert, C. (2004) "The prosaics of entrepreneurship," in Hjorth, D. and Steyaert, C. eds., *Narrative and Discursive Approaches in Entrepreneurship*. Cheltenham: Edward Elgar: 8-21.
- Steyaert, C. (2007) "Entrepreneurship as a conceptual attractor: A review of process theories in twenty years of entrepreneurship studies," *Entrepreneurship & Regional Development*, 19(6) : 453-477.
- Tobias, J. M., Mair, J. and Barbosa-Leiker, C. (2013) "Toward a theory of transformative entrepreneurship: Poverty reduction and conflict resolution in Rwanda's entrepreneurial coffee sector," *Journal of Business Venturing*, 28(6) : 728-742.
- van Gelderen, M., Kautonen, T., Wincent, J. and Biniari, M. (2018) "Implementation intentions in the entrepreneurial process: concept, empirical findings, and research agenda," *Small Business Economics*, 51(4) : 923-941.
- Vanevenhoven, J. and Liguori, E. (2013) "The impact of entrepreneurship education: Introducing the

- entrepreneurship education project," *Journal of Small Business Management*, 51(3) : 315-328.
- Venkataraman, S. (1997) "The distinctive domain of entrepreneurship research," in Katz, J. and Brockhaus, R. eds., *Advances in Entrepreneurship, Firm Emergence and Growth*, Greenwich, CT: JAI Press: 119-138.
- Venkataraman, S., Sarasvathy, S. D., Dew, N., Forster, W. R. (2012) "Reflections on the 2010 AMR decade award: Whither the promise? Moving forward with entrepreneurship as a science of the artificial," *Academy of Management Review*, 37(1) : 21-23.
- Watson, T. J. (2013) "Entrepreneurial action and the Euro-American social science tradition: pragmatism, realism and looking beyond 'the entrepreneur'," *Entrepreneurship & Regional Development*, 25(1-2) : 16-33.